

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年8月28日(2014.8.28)

【公表番号】特表2014-509479(P2014-509479A)

【公表日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-019

【出願番号】特願2013-551919(P2013-551919)

【国際特許分類】

H 04 N 19/50 (2014.01)

【F I】

H 04 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月10日(2014.7.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

参照ピクチャを格納するための参照ピクチャバッファと、

前記参照ピクチャ及び前記参照ピクチャの動きベクトルを利用して、予測ブロックを生成するための動き補償部と、

を含み、

前記参照ピクチャの前記動きベクトルは、所定のレンジでクリップされることを特徴とする映像復号化装置。

【請求項2】

前記参照ピクチャの前記動きベクトルは、大きさ調整され、前記レンジでクリップされることを特徴とする請求項1に記載の映像復号化装置。

【請求項3】

前記動きベクトルは、所定の固定値レンジでクリップされることを特徴とする請求項1に記載の映像復号化装置。

【請求項4】

前記参照ピクチャの前記動きベクトルは、所定のブロック単位に格納され、

前記動き補償部は、前記所定のブロック単位に格納された前記参照ピクチャの前記動きベクトルを利用して、前記予想ブロックを生成することを特徴とする請求項1に記載の映像復号化装置。

【請求項5】

前記動きベクトルのX成分およびY成分は、前記固定値レンジでクリップされることを特徴とする請求項3に記載の映像復号化装置。

【請求項6】

前記動きベクトルは、インター予測モードで復号化されたブロックの動きベクトルであることを特徴とする請求項1に記載の映像復号化装置。